

障がいのある方やご家族の災害支援について、一緒に考えませんか？ ～「あんしんのまちコーディネート事業」のご案内～



東日本大震災や熊本地震、札幌市においても北海道胆振東部地震や台風上陸など、近年多くの災害が発生しています。

地域の中で、どこに障がいのある方や支援の必要な方がいらっしゃるのか、日頃から把握し、何が必要なのかを考え、準備をしておかなければ、いざという時に行動しようと思っても、うまくいかないことが明らかになっています。※1

あんしんのまちコーディネート事業とは？

札幌市では、災害が発生した時に障がいのある方の避難支援を行う町内会・自治会・地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）、障がい福祉サービス事業所等に対して助言等を行うコーディネーターを派遣する事業（「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」）を実施しております。地域での災害支援の取組みや、実際の災害時避難について身近に感じ、一緒に考えていく機会として、「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」の活用をご検討ください。

※1 東日本大震災の際には障がいのある方（障がい者手帳所持者）の死亡率が全体住民の2.5倍であったという調査報告あり。自然災害に加えて、人的被害の高さが課題という報告あり。

☆相談事例☆

Q. 家族会で、防災について学習会を開催したいのだけれど、どうしたら良いですか？
（障害福祉サービス通所事業所から）

A. 学習会の企画から一緒に考えていくことが出来ますので、まずは当所にご連絡ください。
本事業では、「避難行動要支援者名簿（※2）」や、町内会等の取組例についてお話致します。ご家族は町内会等へ情報を伝える事や、実際の避難について不安があらうかと思えます。一緒に防災について考えていける一役を担えればと思います。

※2 避難行動要支援者名簿…災害の発生又はその恐れがある場合に、自ら避難することが困難で、速やかな避難を確保するため特に支援を要する方達について札幌市が作成した名簿。

Q. 普段、関わっている障がいのある方達の災害時の避難について考えたいが、どうしたらいいか。
（障害福祉サービス居宅介護事業所から）

A. 支援者の役割分担や個別避難計画があると、災害時に避難しやすくなるのではないかと考えます。そのために、避難支援にあたって支援体制や支援内容等、地域の実情に合わせた取組みを一緒に考えていきましょう。

皆様のお困りごとやご要望に応じた相談が出来るよう、お手伝いさせていただきます！

お問い合わせ先

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール（札幌市基幹相談支援センター）

住所：札幌市中央区南16条西7丁目2-20 トーコービル4階

電話：011-213-0171 / FAX：011-213-0172 / メールアドレス：sapporo@one-all.net

